

阿賀野川  
えとこだ  
プロジェクト

阿賀野川  
エコ  
ミュージアム



# 鉄道

村上線(現・羽越本線)の阿賀野川鉄橋(大正期/田辺修一郎氏所蔵)

懐かしい写真で振り返る

# 阿賀野川・近代ものがたり



# 舟運

小松(現・阿賀野市)の川戸(明治後期~大正期/田辺修一郎氏所蔵)



# 橋

4代目・横雲橋(大正14年/中村善一氏所蔵)

阿賀野川エコミュージアムを目指す  
流域再生フォーラム(第5回)



# 近代化の 光と影

旧昭和電工株鹿瀬工場グラウンドでの運動会(昭和20~30年代/沖田信悦氏所蔵)



# イザベラ・ バード

3/29 (日)

13:30 ~ 16:00

横越地区公民館

2階 研修室A

◀ 詳細は裏面へ!

新潟県

阿賀野川の本尊岩(大正期?/田辺修一郎氏所蔵)

# 大河・阿賀野川の近代化を、様々な視点から読み解きます。

今年平成27年は、新潟水俣病が昭和40年に公式に確認されてから、ちょうど50年を迎える節目の年に当たります。

そこで、阿賀野川流域の再生を目指す「阿賀野川え〜とこだプロジェクト」(FM事業)では、この光と影を併せ持つ大河が辿った近代化の過程を、「鉄道」「舟運」「イザベラ・バード」などのテーマに沿って見つめ直すフォーラムを開催します。

イベント当日は、これまでFM事業が収集してきた流域の風景や人々の営みが収められた貴重な写真群も、各テーマごとに整理して大量に公開いたします。また、流域の食材を生かした特製スイーツを食しながら、阿賀野川の近代化を丸ごと体験できる貴重な学びの機会にもなりますので、ぜひご参加いただければ幸いです！

## 当日パネリスト



**本間修一氏**  
北宝隊代表



**山口冬人氏**  
NPP新潟県写真家協会理事



**江川功氏**  
NPO法人まちづくり学校理事



### 鉄道

大正期に拡大した鉄道網。阿賀野川流域でも、村上線(羽越本線)や岩越鉄道(磐越西線)などが開通。



### 舟運

鉄道網の拡大につれて衰退した舟運。しかし、阿賀野川では独自の川舟が出現し、昭和期も活躍した。



### 橋

明治以降、阿賀野川に次々と架けられた橋には、地域住民の様々な思いが詰まった物語が隠れている。



### 近代化の光と影

明治・大正・昭和と各時代を象徴する近代産業が栄えた阿賀野川流域。その光と影の変遷に迫る。



### イザベラ・バード

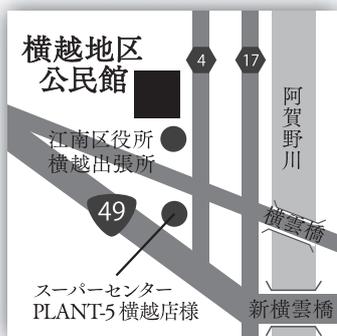
東日本奥地を踏査中のイザベラ・バードは、阿賀野川の急流くぐりを体験し、「ライン川より美しい」と称賛した。



### 特製スイーツ★

阿賀野川流域の食材を生かした、実力派パティシエ特製のスイーツを食しながら、フォーラムを聴講♪

※写真はイメージです。



## ◆開催概要

**定員40名・参加費無料**

●開催日時:3月29日(日) 13:30 ~ 16:00 (開場13:00 ~)

●開催場所:新潟市 横越地区公民館 2階 研修室A

(住所:新潟市江南区いぶき野1-1-2 / ☎025-385-2043)

主催:新潟県・阿賀野川エコミュージアム構想推進協議会 共催:新潟市  
後援:五泉市・阿賀野市・阿賀町 企画・運営:一般社団法人あがのがわ環境学舎

### ●申込方法

下記必要事項をご記入の上、FAX・メール・お電話にてお申込みください。  
定員は40名、先着順です。定員を超えた場合は、ご連絡いたします。

### ●申込期限

3/27(金)  
17時まで

### ●お問合せ・お申込み先

一般社団法人あがのがわ環境学舎  
〒959-2221 阿賀野市保田3866番地1  
TEL&FAX: 0250-68-5424  
E-mail: aganogawa@niigata.email.ne.jp

### 参加申込書 フォーラム(第5回) 懐かしい写真で振り返る 阿賀野川・近代ものがたり

※いただいた個人情報は、流域再生事業の実施を目的とした用途以外に使用することはありません。

ふりがな お名前		ご住所	〒
ご所属 (※あれば)		電話番号	